

教科	図画工作科	学年	第3学年
----	-------	----	------

題材名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)		単元のまとまりの評価規準
絵の具と水のハーモニー	2	知	筆の使い方や水の量を工夫しよう。	筆の動かし方や水の量を変えるなどを通して、あらわれる形や色などの感じがわかっている。 水彩絵の具を使ってできる形や色の感じ、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を工夫している。
		思	絵の具遊びから、描きたいことを考えよう。	絵の具遊びで描いた形や色の感じをもとに、好きな形や色、描く心地よさから思いを広げて、表したい感じを考えている。
		学	絵の具で描くことをたのしもう。	水彩絵の具でいろいろな描き方を試し、描く心地よさを味わい、表すことをたのしもうとしている。
ふわふわ空気のみ木	2	知	袋の積み方やつなぎ方を工夫しよう。	膨らませたビニル袋をたくさんついたり触れたりしながら、形や色、ビニル袋の感触や活動する場所の感じがわかっている。
		思	袋を積んだりつないだりして、つくりたいものを考えよう。	膨らませたビニル袋の形や色、感触、活動する場所の感じをもとに、自分のイメージを広げながら、造形的な活動を思いついたり、新しく変化させたりしてどのように活動するかについて考えている。
		学	空気の積み木のふわふわした心地よさをたのしもう。	膨らませたビニル袋の感触など心地よさを味わい、友達と協力してたのしもうとしている。
ねん土ランドへようこそ	2	知	粘土のできることを生かして表し方を工夫しよう。	粘土に触れたり動かしたりすることを通して、粘土のできる形などの感じがわかっている。 握る、ひねる、積み上げる、つなげるなど、手のさまざまな部分を使い、粘土のできそうなこと、やってみたいことなどを工夫している。
		思	つくりながら、どんなねん土ランドができるか考えよう。	粘土の感触や働きかけてできた形などからイメージを広げ、どのような「ねん土ランド」ができそうか思いついたり、表し方などを考えたりしている。
		学	友達と協力して、つくることをたのしもう。	友達と協力しながら、粘土に働きかけ、自他の感覚やイメージを共有しながら、「ねん土ランド」をつくることをたのしもうとしている。
ふくろの中には、何が…	4	知	いろいろな材料の使い方を工夫しよう。	いろいろな材料を見たり触れたり集めたりして、それぞれの形や色の感じがわかっている。 いろいろな材料の使い方を、想像した世界に合わせて工夫している。
		思	袋の中に広がる世界を考えよう。	自分のイメージをもち、袋の中に表したい世界を思いつき、材料や袋の形を生かしながら表すことを考えている。
		学	いろいろな材料でつくることをたのしもう。	いろいろな材料で袋の中の世界をつくることをたのしもうとしている。
ふしぎな乗りもの	4	知	形や色などの描き方を工夫しよう。	どのようなものが乗り物になったらたのしいかを考えながら、身近なものの形や色の感じがわかっている。 不思議な乗り物の形や色を、自分の思いに合わせて、描き方を工夫している。
		思	不思議な乗り物やお話を考えよう。	自分のイメージをもちながら、想像したことから思いついた不思議な乗り物やお話を考えたりしている。
		学	不思議な乗り物を描くことをたのしもう。	想像をふくらませながら、不思議な乗り物を描くことをたのしもうとしている。
にじんで広がる色の世界	4	知	にじみのできる形や色の組み合わせを工夫しよう。	クレヨンやパスで描いた形の中に絵の具をたらしてにじみをつくりながら、形や色などの感じがわかっている。 にじみのできる形や色の水たまりをつくり、形や色の組み合わせを工夫して自分の色の世界を表している。
		思	にじみのできた形や色からお話を考えよう。	にじみのできた形や色の感じから、自分の色の世界のイメージをもち、表したいことやお話を思いつき、表し方を考えている。
		学	にじみで表すことをたのしもう。	にじみを生かして自分の色の世界を表すことをたのしもうとしている。
つかってたのしいカラフルねん土	4	知	たのしく使えるように、形や色の組み合わせ方を工夫しよう。	カラフルねん土をつくりながら、形や色の感じがわかっている。 粘土を使った経験などを生かしながら、思いついた使ってたのしいものを、形や色を工夫して表している。
		思	カラフル粘土で、使ってたのしいものを考えよう。	カラフルねん土のできる形や色の感じや自分のイメージから、使ってたのしいものを思いつき、どのように表すか考えている。
		学	カラフル粘土でつくることをたのしもう。	カラフルねん土でつくることをたのしもうとしている。
光サンドイッチ	4	知	光と影の形や色の組み合わせを工夫しよう。	光を通す材料を扱ったり触れたりしながら、光があたるときの材料の形や色などの感じがわかっている。 光や影を意識して、材料の形や色を試したり、つくり方を考えたり組み合わせたりして工夫している。
		思	光を通した材料の形や色の組み合わせを工夫しよう。	光を通した材料の形や色の感じや組み合わせから感じたことをもとに、表したい光の飾りを思いつき、どのように表すかについて考えている。

題材名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
		心 光を通した美しさをたのしもう。	いる。
		学 光を通した美しさをたのしもう。	光を通したときの材料や飾りの美しさをたのしもうとしている。
あみあみ大さくせん	2	知 網の使い方を工夫しよう。	網に触れたり、場所に関わったりしながら、材料やまわりの環境の形や色の感じがわかっている。
		思 網をいろいろな場所に引っかけて、たのしい活動を考えよう。	網を広げたり、ねじったり、くるんだり、結んだりして手や体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。
		学 網を使って、友達と協力して活動しよう。	大きな網をいろいろな場所にかけることからイメージを広げ、場所なども生かしながら、活動を思いついたり、変化させたりしながら、どのように活動するかについて考えている。
でこぼこさん大集合	4	知 版のつくり方や写し方を工夫しよう。	凹凸のあるさまざまな材料を集めたり、紙に写したりすることを通して、あらわれる形や色の感じがわかっている。
		思 「でこぼこさん」とそのお話を考えよう。	いろいろな材料を組み合わせて版をつくったり、刷り色の組み合わせや写し方の工夫をしている。
		学 版をつくったり、写したりすることをたのしもう。	版をつくったり写したりしてイメージを広げ、「でこぼこさん」とそのお話を考えている。
集めて、ならべてマイコレクション	2	知 材料の形や色の特徴を知ろう。	自然のものを集めて、実際に触れながら、形や色の特徴やその感じがわかっている。
		思 互いのコレクションのよさを見つけよう。	形や色、手触りなどから、自分なりのいろいろな仲間分けを思いついている。
		学 身近な材料を集めたり、並べたりすることをたのしもう。	コレクションの詰め方や並べ方、形や色などの感じをもとに、自分や友達のコレクションのよさを見つけようとしている。
トントんくぎ打ち、コンコンピー玉	4	知 釘の打ち方や材料のつけ方を工夫しよう。	金づちを使って釘を打ったり、材料を付けたりしながら、形や色の感じがわかっている。
		思 ピー玉が転がるたのしいコースを考えよう。	釘打ちのできる、ピー玉が転がるコースを考えながら、つくりたいものの発想を広げ、釘の位置を試したり、ピー玉の動きを確かめたりしながら、たのしい仕組みを考えている。
		学 みんなで釘を打ち、つくったコースで遊ぼう。	友達と協力して、釘を打つ感触をたのしみながら、ピー玉がいろいろな動きをする形や仕組みに関心をもって、つくったコースで遊ぶことをたのしもうとしている。
未来にタイムスリップ	4	知 場面に合った表し方を工夫しよう。	夢をかなえた瞬間を思い浮かべたり、動きで表したりしながら、その場面に合ったポーズや形や色の感じがわかっている。
		思 夢をかなえた場面を考えよう。	描画材料を使った経験などを生かしながら、夢をかなえた瞬間の場面に合った表し方を工夫している。
		学 自分の夢を表すことをたのしもう。	将来の自分を想像し、夢をかなえた場面を思いつき、どのように描き表すかを考えている。
さわってわくわく	2	知 材料の組み合わせ方を工夫しよう。	材料に触ったり、見たりして、材料の形や色などの感じを捉えている。
		思 触った感じを生かして、表したいことを見つけよう。	材料に触れながら、形を変えたり、並べたり、組み合わせなどを工夫して表している。
		学 材料の触り心地のよさや違いをたのしもう。	触り心地から仲間分けをしたり並べたりしながら、表したいことを見つけ、どのように貼るかを考えている。
生まれかわったなかまたち	4	知 材料の形や色の組み合わせを工夫しよう。	材料に触れたり、変形させたり、組み合わせたりしながら、形や色などの感じがわかっている。
		思 材料からつくりたいなかまを考えよう。	材料の変化を試しながら、表したいことに合わせて、形や色の組み合わせ方などの工夫をしている。
		学 材料を変身させることをたのしもう。	靴下や手袋に新聞紙などを詰めたり、ひもなどで結んだりした形や色などの感じをもとに、イメージを広げてつくりたいものを想像し、材料を生かして表したいなかまを考えている。
		411 のこぎりの使い方や木切れの組み合わせ方を工夫しよう。	のこぎりで角材を切りながら、いろいろな角材の形の感じがわかっている。

題材名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
のこぎりひいてザク、ザク、ザク	4	知	のこぎりの扱いに慣れ親しみながら、どのようにのこぎりを使うとよいか考え、切り方や木切れの組み合わせ方を工夫している。
		思	木切れから、つくりたいものを考えよう。切ってきた形の感じから想像を広げ、つくりたいものを思いつき、どのように組み合わせるかを考えている。
		学	のこぎりを使って木を切ることをたのしもう。木の感触に親しみながら、のこぎりを使って角材を切ることをたのしもうとしている。
線と線が集まって (形と色でショートチャレンジ)	2	知	たくさんの線を描いたり、色を塗ったりしながら、形や色などの感じがわかっていく。自分が感じた形や色の面白さなどから、線の組み合わせや色の塗り方を工夫している。
		思	線がつくる形から、描きたいことを考えよう。線がつくる形や色などの感じから、自分のイメージをもち、表したいことを見つけ、形の組み合わせや色の塗り方などを考えている。
		学	線から生まれる形をたのしもう。線の組み合わせで生まれる形を表すことをたのしもうとしている。
へん身だんボール	2	知	段ボールに触れながら、形などの感じや加工の方法についてわかっていく。体全体を使って、段ボールの切り方や穴の開け方、つなげ方を工夫している。
		思	段ボールでどんな変身をしたか考えよう。段ボールの形の感じや特徴からイメージを広げ、思いついた自分が変身したいものをどのように表すかを考えている。
		学	つくった変身段ボールを身につけてたのしもう。段ボール箱でつくった変身するものを身につけてたのしもうとしている。
みんなでオン・ステージ！	4	知	空き箱と輪ゴムを組み合わせながら、形や色などの感じや音の出る仕組みの特徴がわかっていく。箱や角材などいろいろな材料や用具を使い、自分の表したい弦楽器に合わせて形や色、つくり方を工夫している。
		思	どんな弦楽器にするか、考えよう。輪ゴムのかけ方やネックの取り付け方、空き箱や容器の特徴から発想して、つくりたい弦楽器のイメージを広げ、どのように表していくかを考えている。
		学	友達と一緒につくり、演奏したりすることをたのしもう。弦楽器をつくることや友達といっしょに演奏することをたのしもうとしている。